

今秋から増産を計画

農業生産法人 チームス 新たにパイプハウス整備

設立から1年が経過した農業生産法人の㈱Teams(チームス)＝本社・豊岡市日高町松岡、新免将社長＝は、今秋から生産量を増やす計画だ。新たにパイプハウスも整備し、この地域ではなかなか手掛けられていない野菜の栽培にもチャレンジする。

Teamsは、新免内の産直販売所、地元では道の駅やスーパー、飲食店を確保している。液肥と相性が

農地は現在約2畝を

所有している。このうち、今秋からタマネギの栽培面積を1500㎡、ニンジンには約3千㎡増やす。パイプハウスは手始めに3棟を建て、ペレットボイラーを使った加温システムを設置する計画だ。

社長と田村寛取締役の2人が昨年6月に設立した。それぞれ建設会社の役員を務め、商工会青年部を通じて親交があった。ともに地域密着の業界に在ることから町内の遊休農地を活用し、地域の活性化や雇用の受け皿となれるような取り組みをしようと考えが一致、農業への参入を決めた。循環型農業を目指しており、食品残渣からできた液肥を使って栽培している。この1年でタマネギやニンジンなど多品種少量(25品種)の栽培を手掛けてきた。液肥は現在、鳥取県産を使っているが、今後は県内産を使う考え。生産した農作物は県の「ひょうご安心ブランド」などの認証取得を目指す。販路はすでに神戸市

地域にない野菜栽培にも挑戦



ニンジンを栽培している畑に立つ新免社長(右)と田村取締役。奥の農地に今秋、パイプハウスを建てる＝豊岡市日高町夏栗

今春には、農業大学校を卒業してUターンした20代の男性と、地

元で兼業農家をする50代の男性の2人を雇用。300㎡の面積で試験的に稲作も始め

た。新免社長は「3年後に黒字化を図り、5年後にはしっかりと地元雇用の受け皿に

なる会社にしたい」と意欲を見せる。(同社は☎0796・42・2244) [森川]